

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本 英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理
送信日時: 2015年7月5日 日曜日 18:26
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年7月5日発行

////////////////////////////////////
/ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年7月5日発行 /
/ //////////////////////////////////////
中部産業遺産研究会にご興味のある方に、このメールを是非転送して下さい。

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【CONTENTS】

- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】 発見館開館10周年記念企画展「古橋源六郎暉兒」開催のご案内【New】
- 【3】 故佐々木享先生を偲ぶ会の呼びかけ【再送】
- 【4】 7月12日開催の第135回研究会についてのご案内【再送】
- 【5】 第136回定例研究会・見学会のご案内【再送】
- 【6】 大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第29回／杉本漢三【New】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 第135回例会 2015/07/12(日) 13:00～ 産業技術記念館 ホールA
【14:30～ 第1回 さんぎ大学 「産業遺産」とはを開催】
- 第136回例会・見学会 2015/09/27(日) 10:00～ 木曾川文庫、木曾川下流改修工事
関連施設、資料館、周辺施設など予定
- 平成27年度パネル展 2015/11/17(火)～29(日) 名古屋都市センター11階
テーマ「東海の絹・文化と産業遺産」
- 第137回例会・パネル展講演会 2015/11/22(日) 13:00～ 名古屋都市センター11階

【2】 発見館開館10周年記念企画展「古橋源六郎暉兒」開催のご案内【New】

平成27年7月1日

いつも発見館をご利用くださる皆様へ
豊田市近代の産業とくらし発見館
館長 森 泰通

発見館開館10周年記念企画展「古橋源六郎暉兒」開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。いつも発見館をご利用いただき、厚くお礼申し上げます。このたび当館では、7月18日（土）～11月1日（日）の期間、発見館開館10周年記念企画展「古橋源六郎暉兎」を開催します。

今回の企画展では、第187回国会での安倍総理大臣の所信表明演説でも取り上げられた、幕末から明治期の篤農家、古橋源六郎暉兎について、古橋懐古館に伝わる資料とともに紹介します。是非この期間中に、ご家族・ご友人の方々をお誘いあわせの上、当館へご来館賜りますようご案内申し上げます。

敬具

【行事のご案内】 詳細は発見館HPをご覧ください。

1. 子どもにもわかる ギャラリートークと座繰り機実演
日 時：7月30日（木） ①10時～11時 ②13時30分～14時30分
内 容：ギャラリートークの後、足踏み式座繰り機の実演を見学。

2. 企画展講座「シルクを染めてみよう！」
日 時：8月1日（土）、2日（日） 13時～15時
内 容：シルクのスカーフをアイの生葉で空色に染める。
※申込が必要です。HPをご覧ください。

3. 見学会 「古橋源六郎暉兎と稲武」
日 時：8月21日（金） 9時30分～16時
内 容：稲武を訪ね、古橋懐古館を見学。

4. ギャラリートーク 「30分でわかる暉兎」
日 時：9月13日（日） 10時～10時30分
内 容：当館学芸員によるギャラリートーク

（問合せ）豊田市近代の産業とくらし発見館 電話 0565-33-0301
（URL）<http://www.toyota-hakken.com/>

【3】7月12日開催の第135回研究会についてのご案内【再送】

中部産業遺産研究会第135回研究会を下記の通り開催致します。

日時 2015年7月12日 日曜日 13:00～
会場 トヨタ産業技術記念館 ホールA

当日は、定例研究会を午後1時～2時に開催致します。
それに引き続き、14:30～ 「第1回さんぎ大学 講話会」を開催致します。
（主催：トヨタ産業技術記念館・共催：中部産業遺産研究会）

第1回目となる今回は、

「産業遺産」とは
というテーマで開催致し、当会副会長の天野武弘先生、トヨタ産業技術記念館副館長の成田年秀様の講話、それに続いて、トヨタ産業技術記念館で発掘された煙突基礎の遺構の見学会も行います。

14:30～のさんぎ大学は、一般の方にも公開される産業技術記念館の行事です。

当日の内容の詳細は添付ファイルをご参照下さい。

また、さんぎ大学の内容については、
<http://www.tcmit.org/information/2015/06/post-207.html>

をご参照下さい。

研究会、さんぎ大学ともに参加のお申し込みは不要です。ご興味のある方にもご紹介

下さい。

【4】故佐々木享先生を偲ぶ会の呼びかけ【再送】

故佐々木享先生を偲ぶ会の呼びかけ
世話人会 横山悦生・森下一期・依田有弘・田中喜美・大橋公雄・沼口博

私たち6名は、2016年5月14日の故佐々木享先生の1周忌の日に、名古屋大学において先生を追悼する「故佐々木享先生を偲ぶ会」を開催するための、世話人会を結成しました。私たちは、この偲ぶ会を実りあるものにするために、実行委員会を立ち上げることを呼びかけます。その日に向けて、追悼集の作成、当日の会の持ち方などを実行委員会で準備していきたくと考えています。

「偲ぶ会」の構想として次のことを考えています。

- 1) 2016年5月14日 名古屋大学にて「偲ぶ会」 午後4時～7時(予定)
参加費：6,000円
- 2) 追悼集の発行
追悼集の内容については、執筆希望者の意向を集約してから決めます。
費用：3,000円以上を予定
(執筆の有無にかかわらず、ご協力をお願いします。額については執筆予定調査の結果によっては変更があるかもしれません。)

つきましては、添付ファイルにある通り、お返事を頂きたいと思えます。詳細は前回の電子メール版ニュースレターの添付ファイルをご参照下さい。

【5】第136回定例研究会・見学会のご案内【再送】

第136回定例研究会・見学会を次の通り開催致します。

【ご注意】

- 1) 参加のお申し込みが必要ですのでご注意ください。
- 2) お申し込みは7月12日までにお願いいたします(申込先は下記をご参照下さい)
- 2) 当日午前6時に名古屋地区に暴風・大雨警報の発令時は中止予定です。

開催日時：2015年9月27日(日曜日) 10時集合～15時頃解散 雨天決行

集合場所：近鉄長島駅(南側が出口) 10時
参加費：500円(入館料、自家用車提供者へ謝礼) 当日受付の時

[内容]

「木曾三川資料館 木曾川文庫見学と河川改修施設・遺構を見る。」
午前：近鉄長島駅より、乗用車乗り合わせにて20分程度の「木曾川文庫」を見学。薩摩藩による宝暦治水工事、デ・レーケ指導の明治改修工事の調査・計画関連資料の説明を受けます。公園内の重要文化財「船頭平閘門」、デ・レーケ像を見学し、木曾三川公園治水タワー
広場にて、昼食(各自持参)と休憩。

午後：薩摩藩の宝暦治水殉職者を祭神とする「治水神社」及び「近代治水百年記念碑」を見学・参拝。同時に明治改修で施工されたケレップ水工が河川内に見られます。最後に輪中の災害歴史・生活・文化を勉強できる「輪中の郷」へ移動し見学。

15時頃：長島駅に戻り解散します。(尚、輪中の郷は入館料310円が必要となります)

参加希望者は 住所、氏名、自家用車を出すことに協力可能か同乗の区別を明示し下記へ申

し込み。自家用車の準備がありますので見学会参加希望者は7月定例研究会当日（7/12）までに連絡をお願いします。

事務局大橋まで E-mail : ohashi05@ai.wakwak.com

【6】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第29回／杉本漢三【New】

ランチェスターの第二法則

非科学的な精神論、根性論で叱咤激励して目標達成を強要するのが日本政府であり、破滅に追い込んだ太平洋戦争である。初めから勝ち目は無く、戦争遂行の戦略は無いに等しいものであった。そのために兵士は悲惨な目に合い、多くの犠牲者を出した。これに対して相手は、「広域戦」、近代兵器を使つての「確率戦」でランチェスターの「第二法則」を応用していた。多数が多数を攻撃するとき、どの弾がどの兵士に当たるか分からないものの確率的に損害は出るものである。一騎打ちと違って2乗と2乗で戦うことであり、これを「第二法則」という。たとえば、同じ性能の武器でA軍5名、B軍3名で戦った場合、A軍とB軍がそれぞれ受ける攻撃量の比率は、次の式で表せる。

$$A \text{ (「1/5」} \times 3) : B \text{ (「1/3」} \times 5) = A(9) : B(25) = A(3^2) : B(5^2)$$

味方の生き残りは、 $\sqrt{5^2 - 3^2} = 4$ 、B軍が全滅したとき、A軍は4人が生き残っている。

日本軍は戦場で、小出しに兵士を戦わせており、一度に大勢で攻め込むことをしなかった。

公式 $M_o^2 - M^2 = E(N_o^2 - N^2)$

- A軍の損害量 = $\frac{1}{5} \times 3$
($\frac{1}{5}$ で当たる攻撃を3人から受ける)
- B軍の損害量 = $\frac{1}{3} \times 5$
($\frac{1}{3}$ で当たる攻撃を5人から受ける)
- A軍の損害量:B軍の損害量 = $\frac{3}{5} : \frac{5}{3}$
= 9:25 ($3^2:5^2$)
- 味方の生き残り = $\sqrt{5^2 - 3^2} = 4$